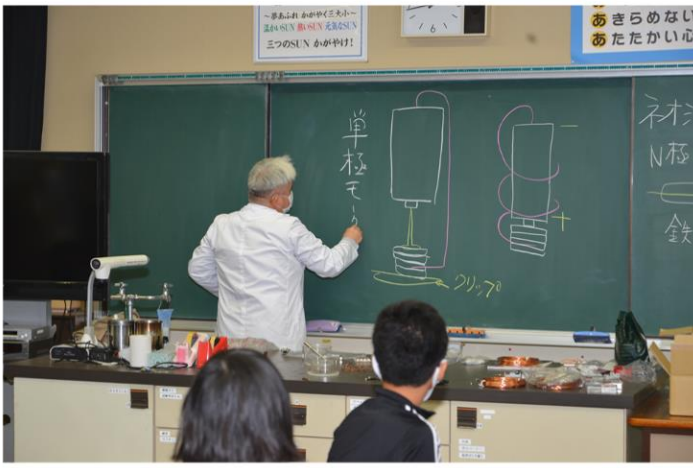


三大地区 理科実験教室」



みんなで実験
してみよう！



三大地区の「理科実験教室」が開催されました。講師は弘前大学教育学部教授長南先生で、単三乾電池とネオジム磁石、それに銅線を使って「単極モーター」を作り、モーターの仕組みを学ぶというものでした。

最初は、グループごとに先生が作った銅線を使い試しました。試行錯誤を重ねながら乾電池に乗せた銅線がくるくる回りだすと、どのグループからも驚きの喚声が聞こえてきました。次は、一人一人が銅線を工夫して形作り、同じようにモーターを作る実験でした。長南先生やアシスタントの学生さんに手伝ってもらったり、グループで教えあったりと、楽しく協力しながら取り組んでいました。

最後の木ねじを使ったモーターでは、ばっちり組めたことで銅線を外しても慣性で一分近く回り続ける子もいて、長南先生や校長先生も驚いていました。

子どもたちの感想

